

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	社会教育事業		コード	担当課	生涯学習課	生涯学習係
			03-02-03-05	担当者	福山 哲明	
事業実施期間	昭和46年から		電話	0869-64-1841		
総合計画 事業(政策)体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり				
	中項目	生きがいのあるまちづくり				
	小項目	成人教育				
	施策	各種学級・講座の充実				

事業について	
目的	すべての市民が、あらゆる機会やあらゆる場を活用し自らの実生活に即する文化的教養を高め得る環境を醸成する
対象(誰のために)	社会教育・生涯学習関係団体や次世代を担う青少年等
内容	対象者のニーズや課題を明らかにした上で各種事業内容を検討し開催する

事業の結果				
実施項目	17年度			
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)	
社会教育委員の会議	3回			
成人式参加者数	369人			
教育の日事業参加者数	769人			

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	3,748	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	6,500	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	10,248	一般財源等	10,248	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.65	人			
結果指標名	成人式参加者数				
結果指標量	369				
単位	人				
対前年比	—				
事業費	1,107,000	円			
単位当たりコスト①	3,000	円			

結果指標名	成人式の参加率				
結果指標量	75				
単位	%				
対前年比	—				
事業費		円			
単位当たりコスト②		円			

事業の成果			
成果指標名	成人式参加者数	式又は説明	成人式参加者数/住民基本台帳対象者
成果指標量	17年度 75.00%		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	95.00%	到達目標年度	20年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	生涯学習及び社会教育事業の充実を図るため、市民のニーズはもとより社会教育委員からの提言も含め実施している。実施にむけては市長部局及び公民館との連携を図り総合的に推進することが望まれる。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	コストの効率化	各種委員会や講演会、成人式などの固定的な事業が多く、各委員会等における人件費の削減がコスト削減につながるものと考えている。
	手段の最適化	
	職場の効率化	
有効性の評価	目的達成度	固定的な取組が根付いており、今後、事業の縮小も含め有効性を核とした評価基準による見直しが必要である。
	成果向上の可能性	
	市民参画度	

総合評価		評価区分 <A~E>
コメント	少子高齢化社会を向かえるにあたり社会教育及び生涯学習の在り方等検討していく必要がある。また、委員会等のスリム化を図るとともに市長部局関係課との連携を図る必要がある。	C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	450人	結果指標量②	75.00%
目標値	結果指標量	95.00%	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	成人式の開催日及び内容について再検討をし、参加者が参加しやすい式典にする。	19年度	対象参加者の増加が期待でき、目的等も明確になる。
効率性	社会教育及び生涯学習における諮問機関のスリム化を図る。	19年度	重複する諮問機関のスリム化を図ることでコストの削減が図れる。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。